

（仮称）業平橋押上地区開発計画（新タワー計画）

H21年3月～H21年5月 工事工程のお知らせ

おかげさまで工事は順調に進んでおり、先行する低層棟地上鉄骨は20m近く立ち上がって来ました。5月までの工事工程を次の通りお知らせいたします。

《タワー街区》

タワー街区は、4月初旬よりタワー塔体の地上鉄骨に着手します。地上50mまではタワー足元を結ぶ三角形に外周足場を架設し、その中で筒状の鉄骨を組み上げて行きます。

タワーの鉄骨は高強度鋼材による大口径のパイプ構造で、接合は殆どが溶接であり、メインの柱は下層部では約3m毎に接合して行きます。

溶接作業は天候の影響を受けやすい中、品質・安全を確保のため、連続して行う必要があります。そのため、作業は大きな音は発生しませんが、作業場所を防音シートで覆う等対策を講じたうえ、最長21時（作業後の安全点検等は22時）まで作業をさせていただきます。

また、5月初旬より東武伊勢崎線側の仮設防護構台の取り付けを、終電後20日間程度行います。

今まで同様、極力騒音を発生させないよう作業を行なってまいりますので、何卒ご理解ご協力を賜りますようお願い致します。

《西街区》

3月上旬より、準備工事として鉄道計測機器を設置のうえ、地中障害除去ならびに現場事務所の設置を始めており、4月からは山留め工事を行う予定です。

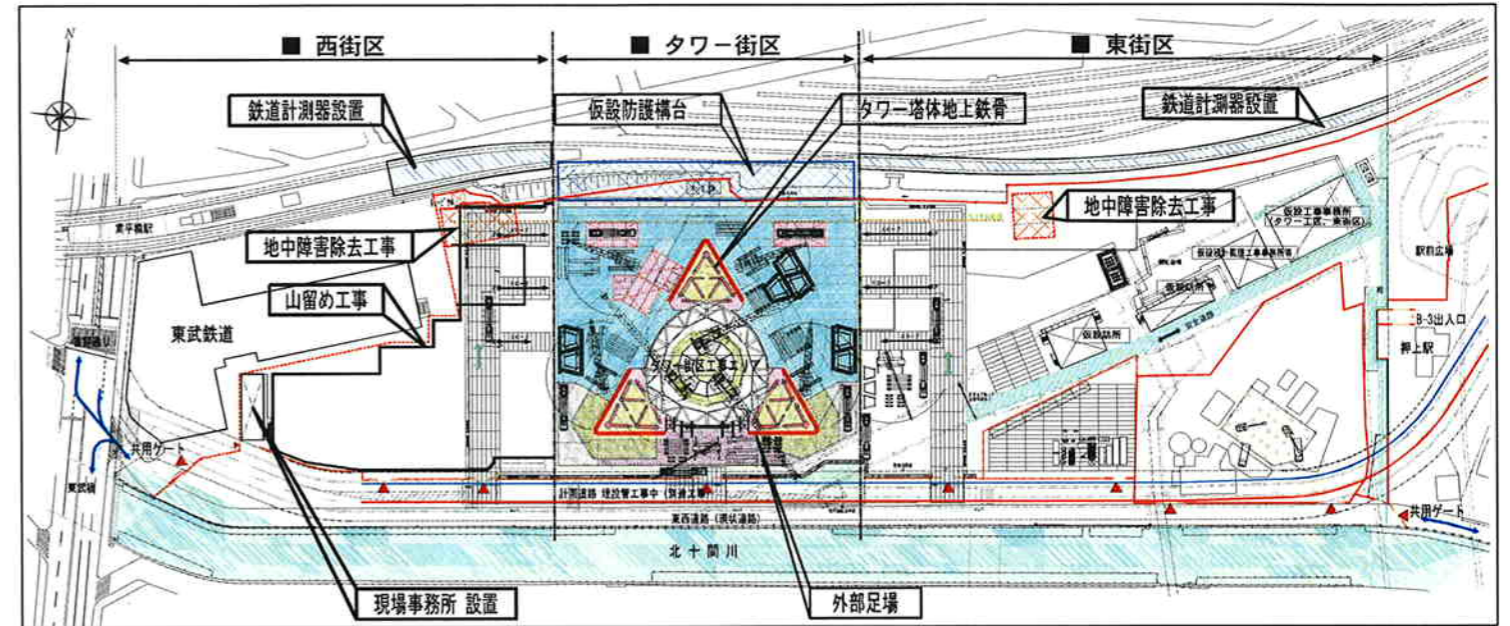
《東街区》

4月中旬より、準備工事として、鉄道計測機器を設置のうえ、地中障害除去を行う予定です。

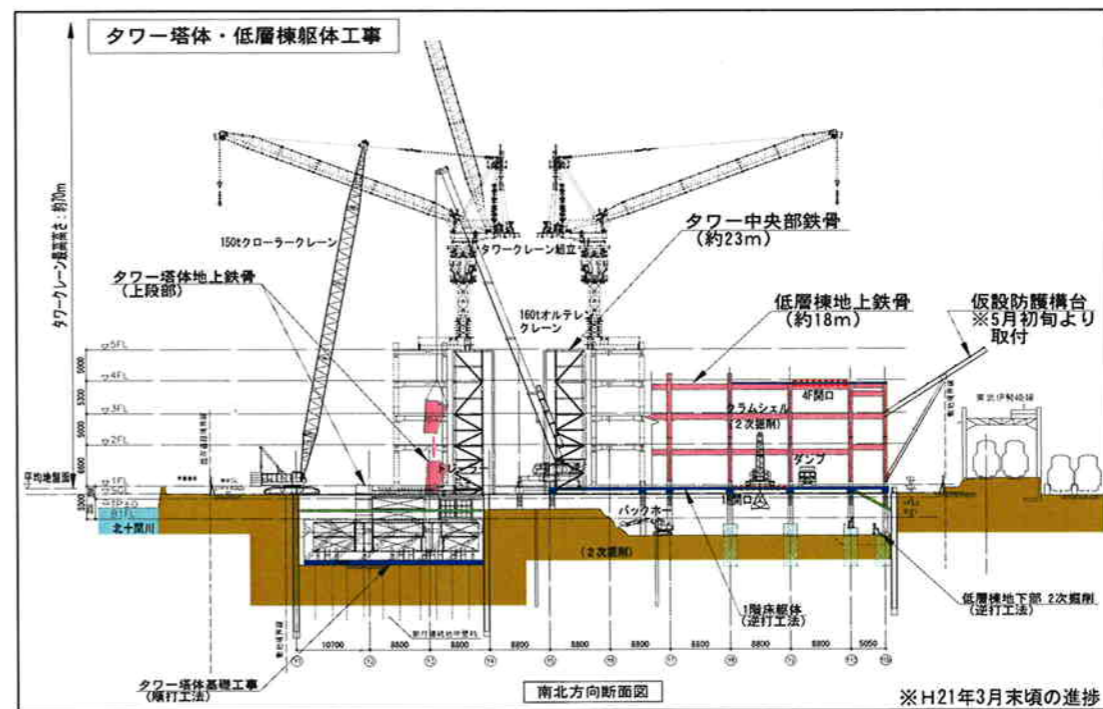
3月～5月工事工程

	H21年3月	4月	5月	備考
＜タワー街区＞				
①低層棟工事	(逆打工法) 2次掘削⇒杭頭処理⇒基礎躯体工事			(株)大林組
	地上部2階～4階床躯体工事			
②タワー塔体工事	タワークレーン組立工事	東武伊勢崎線側仮設防護構台工事 ※終電後作業		
	塔体基礎鉄骨工事及び基礎躯体工事			
		塔体地上鉄骨工事		
＜西街区＞	鉄道計測機器設置			大成建設・東武谷内田建設JV(予定)
	地中障害除去工事・現場事務所設置 山留め工事			
＜東街区＞			鉄道計測機器設置	大林組・株木建設・東武建設JV(予定)
			地中障害除去工事	
平均車両台数(台/日)	約300台	約300台	約300台	

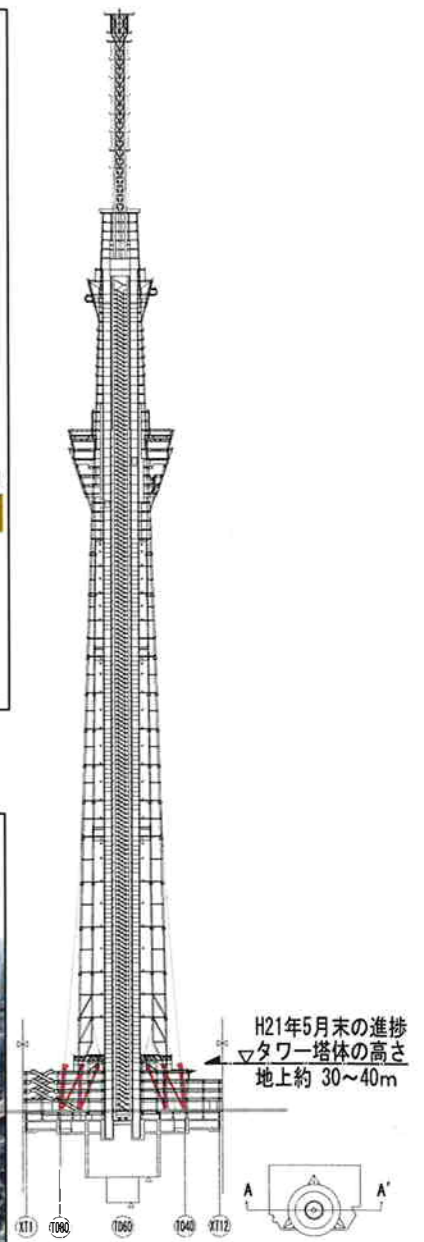
全体平面図



タワー街区 断面



全景写真



(本計画に関する全てのご相談窓口)

電話：03-5610-0605

月～土 8時～20時

(工事に関するご相談窓口)

電話：03-3829-6310

月～土及び祭日 8時～20時

(緊急の場合は、上記以外も連絡可能)